



新海 房子
杉本 敏子
中野 恵子
中村 志保
羽田 綾女



わたしたちに 出来ることから しようじやないの

毎日の暮らしを見つめ直しながら、限りある資源を有効に使うと台所を預かる主婦が中心となって活躍されている『くらしを見直し会』というボランティアグループがあります。皆さんは月に一度、家庭で不要になった品物のバザー（ガレージセール）を行い、その収益を福祉団体に寄付していただくなど精力的な活動をされています。

今回は皆さんに、この会の活動内容や主婦の立場にたった意見について伺ってみました。

『くらしを見直し会』の活動内容をお聞かせください

現在、地球規模の環境汚染・環境破壊が大問題になっています。この環境破壊を招いている大量生産・大量消費の経済構造にどっぷりつかった日々の暮らしを足元から見直すことが、より良い環境を未来の人たちに手渡すための第一歩である、わたし達は考えます。

そのために、わたし達にできること、たとえば、合成洗剤をやめ、水を汚さない石けんの利用をすすめたり、できるだけ不要な包装を省いて、ごみを出さない、環境を汚さない生活を心がけたりしています。

そして今回、みんなで集いながら「もの」の再利用、再評価をする場としてガレージセールを計画しました。「使い捨ての生活を反省し、水、空気、土、生活を大切にすることを育てるにはどうしたらよいか」を考え、話し合う輪を広げて行きたいと思っています。

ガレージセールって何ですか

もともとは、アメリカで始まったものだそうです。引越す人が、自宅のガレージで不要なものを並べて必要な人を買ってもらうものです。アメリカでは日常的に行われているそうです。自分のいらなくなったものを再利用する、つまりリサイクルということですね。

いつごろ活動を始めたのですか

昨年の四月二十二日、地球の日（アースデー、地球環境を考える日）の集いで、古着や遊休品、手作り品などを売ったのが始まりです。新聞店や農協の人など、いろいろな人に協力してもらって、この時は随分盛大でした。お陰で売上を社会福祉協議会に寄付することもできました。

それから一年間、ちょっと大変かなと思っただけ、毎月第三日曜日、大月信用金庫（上谷支店）駐車場で定期的に開催してきました。あんな良い場所を無料で快く貸していただいた事に感謝しています。

具体的な活動内容は

ピンは回収すれば何回でも使えるし、牛乳パックも上質のバルブできています。スーパーで肉や魚が入っている発泡スチロールのトレイだって家に持って帰れば、ただのごみです。考えてみれば、わたし達の生活ってたくさん資源で成り立っていて、随分ぜいたくな暮らしをしていますよね。このまま使い捨ての生活をしていくと、地球上ごみだらけになってしまいうるそうです。いまこそ資源の再利用（リサイクル）が必要な時代だと思います。みんなできるところから始めたいですね。

サイズが合わなくなった衣類、

使わなくなった台所用品、シート、タオルなどの日用品、古本など提供してもらった物の外、手作り品や水を汚さない石けんの販売、牛乳パックの回収などを行っています。

なぜ石けんを売っているのですか

昔は桂川で泳ぐこともできたし、かじかの姿も見られたそうです。川の汚染原因の一番は家庭雑排水と言われています。中でも合成洗剤は川の小さな生き物を殺してしまし、人間の体に入るとガン細胞が増殖するのを促進させると言われています。だから、生き物にやさしい石けんを使おうと呼びかけています。

一年間活動してみようですか

毎回来てくれる人もいるし、牛乳パックを届けてくれる人も少しずつ増えてきましたが、もっと同年代の人達に参加して欲しいと思っています。リサイクルの活動を一緒にやってくれる人がもっと増えてくれることを希望しています。

これからの抱負は

自分達の身近なところから環境を良くしようという地道に活動している人たちがいますよね。そういう人たちが知り合って、一緒に考えたり協力しあってもっと大きな輪に広げて行きたいと思っています。